

Save The Tropical Forests

ア・タ・

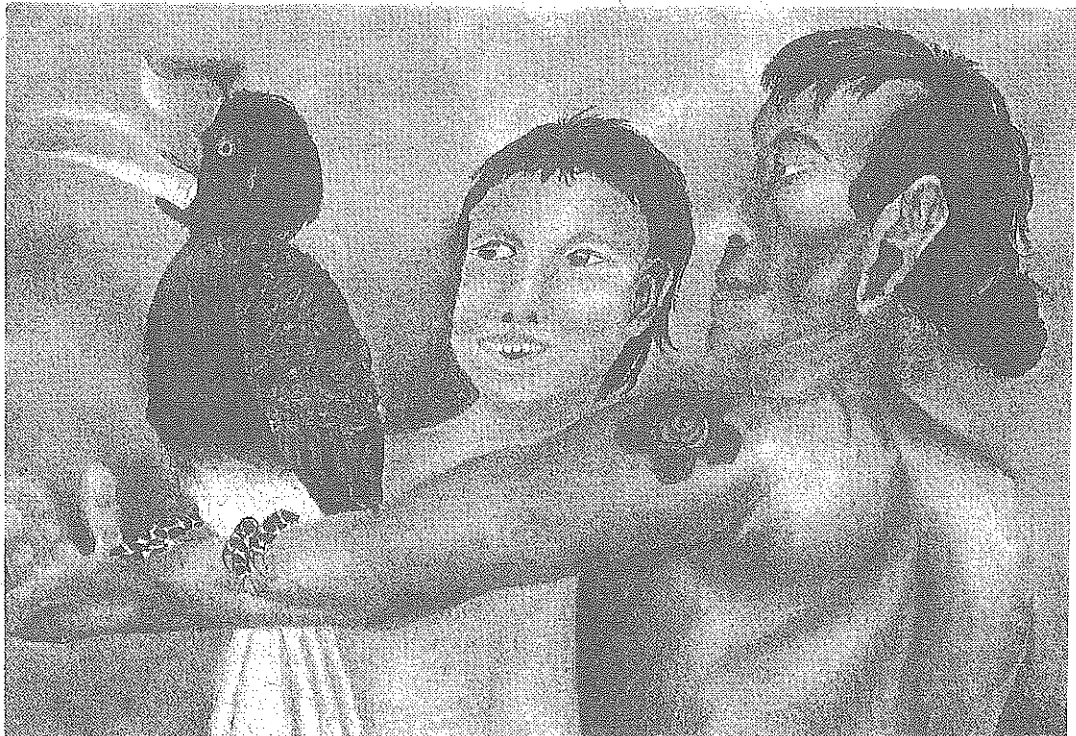
Hutan

57

森の通信

2000.10.3

- 「世界の森を守ろう！全国市民会議」開かれる！…… 3P
- サバ州ヤシ農園から報告「緑の監獄から……」①…… 8P
 - 真・日本林業論 8回「森は賑やかな方がいい……」11P
- 世界の森林問題ニュース…… 17P 本の紹介「2億ワリの木造住宅」…18P
- I7アドルズのボランティア「BAHIA DE Caraquez」…… 14P



母
度
デ
ス
。 。 。
「ウータン」
のこと

②

な
か
た
け
ん
ち
ウ
ー
タ
ン

「近くの山の本で家をつくる運動」……緑の列島ネットワーク

。木を扱うは事上(家具製作)どうしても山や森のことザ気にかかりこの10年ぐらいウータンに関わってきました。又、神戸の震災で実家が全壊しそのあと国産の杉で家を出来まして国産材を身辺に考えるきっかけになりました。時々ですが近場の杉の産地に行く機会もあり現場を見ています。有名な産地はともかく不健全なまっ暗なまやし状態の人工林をやはりよくみかけます。もう7雑木林の少ないこと……。

現在全国各地で産直の国産材の家づくりが進められています。そういう動きをまとめていこうという動きがでてきました。今、賛同人と2001年元旦「意見広告」寄付金、又「宣言書」出版を進めているところということです。又意見も聞いているということ。

興味ある方は下記までご連絡を(資料請求など)



緑の列島ネットワーク

THE GREEN ARCHIPELAGO NETWORK
東京都港区芝5-26-20 建築会館4階 〒108-0014
TEL.03-5419-3621 FAX.03-5419-3623

【ウータン活動報告】

- 2000・6・14 「WTO in 大阪」会議に参加/西岡
- 6・24,25 「エコ緑日」に参加/牛田、篠宮、西岡
- 7・3 外務省との「G8大阪説明会」に参加/西岡、荒木
- 7・4 通信「ウータン56号」発送
- 7・8 「WTO in 大阪」に参加/西岡、牛田、井下/ゲスト*マレーシア・ベナン消費者協会のチー・ヨークリンさん、地球の友・イギリスのロニー・ホールさんら。
- 7・8,9 枝打族に参加/荒木
- 7・15 「WTO戦略会議inなごや」に参加/西岡
- 7・17 AMネット、熱帯林きょうとらと共催の「シリーズ*海外の森林破壊と日本」第6回『シベリア原生林からの報告』ゲスト*ジョシュ・ニウエルさん(地球の友・日本)
- 7・20 沖縄で外務省を通し『G8首脳会合に対する森林保護についての要求』文書をG8各国へ手渡し、記者会見実施。同日、グリーン・ピースや世界資源研究所は違法伐採とG8各国の違法伐採の市場化を暴露し、原生林保護キャンペーンの記者会見。/参加*西岡。
- 7・21 G8首脳会合が沖縄で始まる。
- 7・25 京都での『WTO農業問題説明会』で、農林水産省は「ヤシ植林での森林破壊のアセスは熱帯木材機関(ITTO)がすべき」と返答/参加*牛田
- 7・28 環境教育部会会合/奥村、米澤、春日、笠原、井下ら
- 8・5,6 豊中市のエコ・フェアに参加/井下、篠宮
- 8・20 京都での『9/9,10「世界の森を守ろう!全国市民会議」申込み締切る
- 9・4 枝打族の会合に参加/荒木
- 9・8 講座『森林どんぶり』『紙は紙様?』
- 9・9,10 『「世界の森を守ろう!全国市民会議」ゲスト*地球の友・日本代表の岡崎さん、JATAN小浜さん、黒田さん、Gピースの福田さん、気候ネット事務局長・田浦さん、サラワク・キャンペーン委員会の事務局長・浦本さん、熱帯林きょうと・南さんら。

* 本誌は再生紙を使用しています。

【表紙】新草木染・ハーブ(64.5kg、古紙40%)

【中紙】バガス(55kg、非木材紙50%、古紙35%)

9月9日午後1時～9月10日12時まで、40名以上全国各地から集まり、京都・西本願寺門徒会館で長時間会議を久しぶりに実施。疲れたが、今年の10月 I T T O (国際熱帯木材機関) に対する取組みや、紙やヤシ問題の取組みを決めたことは、この疲れを癒すものだった(詳細は次回)。



3年ぶりに各地の市民グループが京都に集まった。

《違法伐採続く! 大失敗! I T T O 2000年目標-持続可能な経営が行われた森から生産された木材貿易》

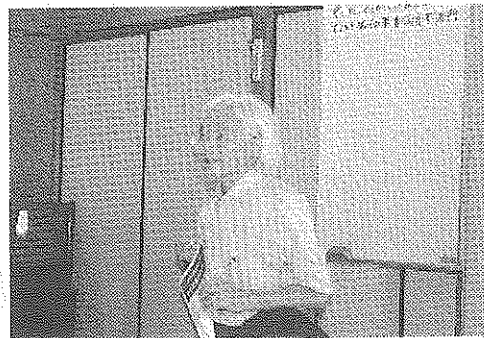
まず、地球の友日本・代表の岡崎時春さんが、W T O の総括的な問題について指摘。

「カギを握るのは日本だ。地球の友では、特にロシア・極東のタイガ林の違法伐採や豪州の原生林破壊に取り組んでいる。依然として丸太輸入国の世界一は日本。37%も占めている。大量消費の見直しと国産材需要を増やす必要がある」と。

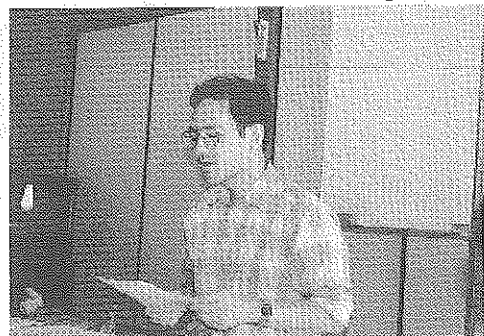
次に J A T A N (熱帯林行動ネットワーク) 小浜崇弘さんが I T T O について総括した。

「1986年にできた I T T O は、[2000年目標]を90年に掲げた。91年に「熱帯天然林の持続可能な経営のためのガイドライン」等を設定し、92年に「達成するための指標となる持続可能な熱帯林経営の定義及び基準・指標」を決めた。

だが今年6月、ペルーの第28回 I T T O 理事会で[2000年目標は達成されていない]、



▲ 地球の友日本 岡崎時春さん



▲ J A T A N 小浜崇弘さん

[さらに2000年目標に取り組むべき]と報告された。

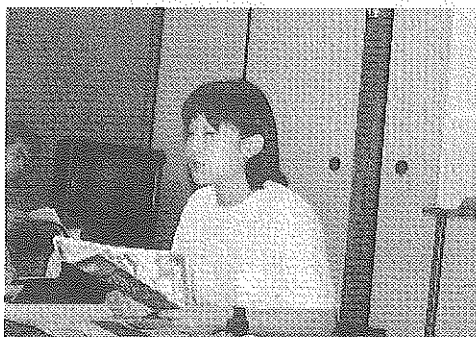
この10年は何だったのか。最初に90年、サラワク調査団でサラワク州政府が、92年へ300万㎡伐採削減を決め、94年に920万㎡に削減するとした。90年は1883万㎡だが、92年は1884万㎡と増え、94年は1631万㎡と守られていない。ITTO2000年目標の大失敗を訴えたい! もっと熱帯材使用削減の必要性を広報したい」と述べた。

JATAN事務局長の黒田洋一さんは、「IPF(森林に関する政府間パネル)が設置されたが未解決でIFF(森林に関する政府間フォーラム)にかわり、今なし崩し的に



▲ JATAN 黒田洋一さん

UNFF(国連森林フォーラム)に変わろうとしている。リオサミットから8年がたっても森林破壊が止まっていない。サラワクの問題でもITTOに圧力をかけるのがベターだ」とコメントした。



▲ グリーンピース ジャパン 福田未来子さん

次いでグリーンピース・ジャパンの福田未来子さんは、ブラジル、インドネシア、ロシアなどの違法伐採の例と現状について報告。

「G8の時にも述べたが、先進国は違法伐採の市場にならぬように努力すべきなのに、全く実施なしの状態だ。私達は、ロシアからの違法伐採について富山でPRした。アマゾンの違法伐採は8割で、日本の永大産業が関係している。神戸で荷降しているところをキャッチし、永大産業へ違法伐採中止を申し入れた。森林破壊は止まっていない」と。



▲ 気候ネットワーク 田浦健明さん

5番目に、気候ネットワーク事務局長・田浦健明さんが森林問題と温暖化・気候変動について報告。

「今年11月、オランダのハーグの気候変動枠組条約締結国会合(COP6)が開かれる。京都議定書の具体的なルールを決定する重要な会議だ。

京都議定書で決まったが、植林等で森林の吸収源を温暖化対策とみなすのは抜け穴だ。だが具体的な計算方法など決まっていない。日本政府は、森林吸収源を最大限に利用する方法(3.7%減少と仮定)を取って、本来防止すべき大気汚染を0%としている。日本案では、日本での最大値が5%だが、豪州は186%となり、カナダも185%、アメリカですら12%となってしまう。さらに吸収源の拡大として原生林伐採が広がる可能性が高い。

また途上国で行う温暖化防止プロジェクトに投資し、削減分を先進国の目標達成とするクリーン開発メカニズム(CDM)に植林を対象とする可能性があり、今年COP6が山場だ!」と述べられた。



▲ 真剣な討議がづく会議

「G8首脳会合に対する森林保護についての要求」

事務局長・西岡良夫

4月大津で開かれたG8環境大臣会合の宣言について、私達は不満だった。1つは違法伐採に対して何も表明しなかった点。2つ目は、森林を吸収源とし大規模植林を是認するクリーン開発メカニズム(CDM)を温暖化の中心策として認めた点。WTOは「環境をも重視し」とまだましたったが、それで一部修正し、7月21日からの沖縄でのG8首脳会合に、再度文案を提出しようとなった。

〈外務省との話し合い・債務帳消し無し・貧富格差是正は40年先〉

それに先立ち7月3日、大阪でG8サミットにつき外務省と説明会開催。シビル・ソサエティ担当の側島サミット補佐らと関西NGO協議会との話し合いは、わずか1時間半。

大半は「南」の国の債務問題になる。貧富格差がWTOなどで加速され、重債務国は国家財政を圧迫し、債務帳消ししなければ維持できない。そんな国々が増えているためだ。

ましになったといわれた外務省は、まず「沖縄にNGOセンターを設置」と言う。が、登録は150人だけ!

「債務問題は、今後のODA融資を100%無償とし、非ODAを90%としましたが、この4月10日、政府はこれも無償援助にすると決定しました。だが債務帳消しはできない。40年もの有償援助も全て返還しそれから無償援助です」と言う。私は「これでは重債務の危機は救われない。なぜ格差是正は40年先か」と。

〈私達の「G8首脳会合に対する森林保護についての要求」と、沖縄でのG8サミット〉

1, G8各国は、G8各国の企業によって環境的、社会的に害をもたらす形で経営された区域から採取された林産物や、木材の違法な商業伐採や不正取引を監視し、これを阻止すること。加えてG8各国を違法に商業伐採された林産物の市場にしないための具体的なあらゆる措置を講じ、また生産国の違法な商業伐採をなくすための協力を緊急に実施すること。

2, G8各国は、国際熱帯木材機関2000年目標である「熱帯木材貿易の対象を持続可能な森林経営に基づき生産された木材のみとする」という文言を守るべきである。

(中略)バーミンガムサミットでは、違法商業伐採について、即刻実施すべき5つのポイントが指摘され、実施進捗状況報告が行われているが、世界の森林の劣化・減少を食い止めるには全く不十分な状況である。

3, G8各国企業による国外での国際的商業活動をチェックし、規制するようなシステムを確立すること。原生林などでの違法な商業伐採、持続不可能な林業へ援助を止め、森林破壊に資金を拠出しないこと。(後略)

4, (WTO問題は略)

5, (前略)大規模植林プロジェクトは、共同実施、CDMや炭素クレジットの国際取引のような措置の対象から除外すべきである。

G8で①地球規模での持続可能な開発をめざし、国家と個人の行動原則を定めた「環境と開発に関するリオ宣言」や、②森林の持続可能な利用と保全を明示した「森林原則」が、遅れていることが気になった。

沖縄につけば、警察官の山。警護とはいえ異常だ。

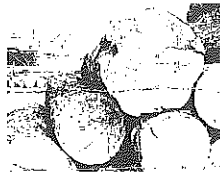
私は「人間の鎖・嘉手納包囲行動」に少し参加して、SAGEの学生と名護市のNGOセンターへ。センターは、まだ知られていないのか閑散としている。

センター内の外務省・側島氏をよび、「森林保護についての要求」を手渡した。首相や各国首脳にも伝えて、と依頼した。余りの警察の多さと、NGOの声を聞く気配のなさで、今回はすぐに沖縄をたつた。

G8サミット首脳宣言はやはり期待外れだった。債務救済を訴えるジュピリー2000日本の代表・北沢洋子さんらは「ケルンサミットより後退した」と指摘したほか、WTOの早期立上げ等をきめた。森林問題は67項に盛り込まれ、バーミンガムより前進していない。

67, 我々は、先住民の地域社会が持続可能な森林経営を実施することを支援するプロジェクトを特に重視する。我々は、輸出及び調達に関する慣行を含め、違法伐採に対処する最善の方法についても検討する。

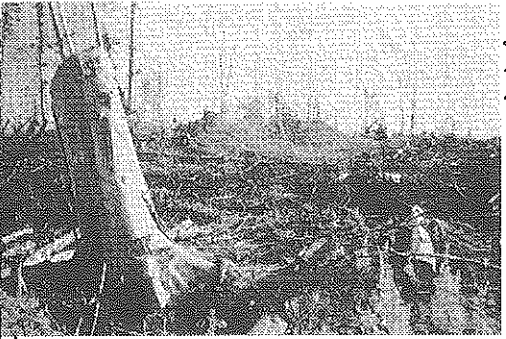
この67項もイギリスのブレア首相からで、議長国・日本のやる気・指導力・国際政治力の無さを痛感した。



タイガ

生命溢れる
奇跡の森

その破壊



▲皆伐された森林



◆「シベリアに蔓延する違法伐採」

去る7月17日、大阪で「地球の友 Japan」のシベリアプロジェクトメンバー ジョシュ・ニューウェルさんの話を聞く会がありました。

彼らの活動は94年から始まり「HOT SPOT」といわれる保護区(約60ヶ所)を推進し、監視活動を行なうものである。

破壊が続くシベリアには「少なからず」

今だ手つかずの原生林も残っている。

しかしこの3~4年の間に違法伐採が横行しているという。これらの違法伐採された材は

①日本 ②中国へと渡っている。

ロシアでは 国営の伐採会社なくなり多くの伐採会社(小規模)が出来たが、森林の監視が出来なくなってしまっている(予算がない)

そこに又、マフィアがさらなる破壊的な伐採を行なわれている。

〈報告〉ウータン・永田健一

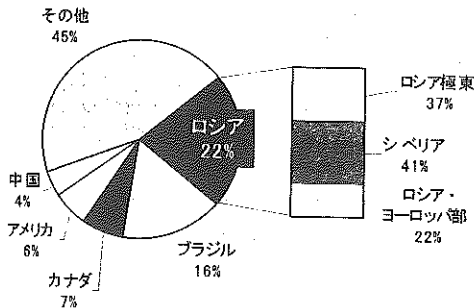
タイガの特徴

①「まず第一に、広い」

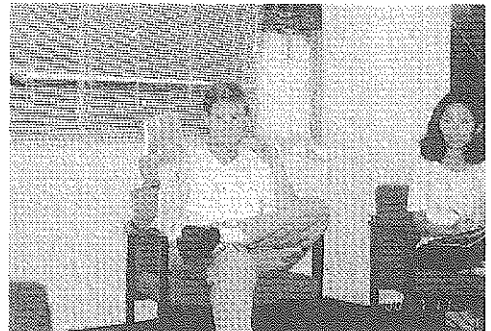
ロシアの森林面積：世界の全森林面積の22%
(7億6400万ヘクタール)
ロシアの森林蓄積：世界の総森林蓄積の21%
(821億立方メートル)

(参考までに：日本の森林は、面積2500万ヘクタール、蓄積31億立方メートルです)

世界の森林分布(1990年代)



出典：FAO and World Resource Institute, 1994
The Federal Forest Service of Russia, 1996



▲「地球の友Japan」 ジョシュ・ニューウェルさん

一方、クリアカットされた森は 東南アジアと同じくほたたらやし、大きな丸太は日本へ買いつけ、他は中国向けとなり切った50~60%は輸出品とされず、現地で野ざらし状態という。

「地球の友」は守るための3つのSTEPを考えている。(違法)

- ① 森林の保護 (伐採, 密猟を止める)
- ② 貿易のコントロール (材の出所をさぐる)
- ③ 消費を少なくする。

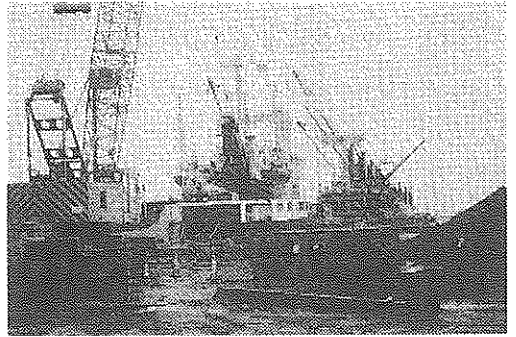
マフィアから違法伐採についてはインターネット上に現在発表している。

貿易についてはロシア材を買いつけている商社(日商岩井, 丸紅, ニクサン, 三井など)に材の出所を問い合わせ、

貿易を監視する。
生産地を記す、認証制度をすすめていくことに大事!

日本の住宅に違法のロシア材(安価な)を使わず、国産材を使っていく重きで消費を抑える寿命をのばすことなど。

方法はあるが、まだまだ課題は山積みのシベリア問題である。



木の名前

ここでは、「北洋材」と呼ばれている木の種類や名前について少し記して置きます。

木の名前は難しく、奥が深いです。というのと同じ木であっても、大工さんや工務店、間屋さんや商社の人々の呼ぶ名前と、林学や植物学の専門家の人々の呼ぶ和名、そして英語名、ロシア名、ラテン語の学名と、たくさん呼び名があるからです。

たとえば、「ベニマツ(業界)」、「チヨウセンゴヨウ/朝鮮五葉(植物学)」、「ケドル(ロシア語)」、「コリアン・バイン(英語)」はみな同じマツの呼び名です。学名(このマツの場合は *Pinus koraiensis*) を使えば確かですが、この本では実際に住宅建築などでロシア産の木材を使っている人々の使う以下の呼び名にあわせました。

「北洋カラマツ」(ハダフリアカラマツ)

タイガの代表的な木で、斜面では日の当たる方に生える。秋になると黄葉して葉を落とす、落葉性針葉樹。木材としては、美観は劣るが、重く強度があり、脂気が多いので耐水性があり、腐りにくい。日本では土木用材として、土中に埋める基礎杭材

●知っておこう!

や足場板などに使われてきた(ロシアの人々やタイガに暮らす少数民族はこの木で頑丈な家を建てる)。最近では、住宅の梁や桁(けた)や土台、サンギなどにも使われており、とくに針葉樹合板の原料(ツーバイフォー住宅の構造用などの用途がある)としての輸入量が増え、業界では、熱帯のラワン材に替わる「エコロジカルな」合板原料としてPRされはじめています。英名は *Larch*、ロシア語は「リーストウイニツア」。

「北洋エゾマツ」

垂木(たるき)、間柱(まばしら)、貫(ぬき)など、あまり強度を必要としないところに使われる。最近では集成材(しゅうせいざい、laminated wood)の心材としての需要が増している。ロシア名は「イエリ」。英語では *White Spruce* といえは通じません。

「北洋アカマツ」

産地は、極東よりさらに西の、東シベリア。住宅建材として使われます。英名は *Red pine*、ロシア語「サスナー」。

※これらの材は

北海道 苫小牧、網走、釧路
富山、石巻、酒田、富岡、
(木(富山)など)に入荷している。

「緑の監獄」から

みどり かんごく

～(その1)サバ州のヤシ農園で～

東 悪男

〈以前は原生林、今は広大なアブラヤシ農園〉

「1960～70年代に森を全て切ってしまった。それで、このように広いアブラヤシの農園になっているんだ。

このタワウからラハ・ダトゥにかけて平地が続く、森林の伐採もし易かったんだろう。原生林は遠く遙かだけだよ。車で4時間以上かかるかなあ。近いところに森が残っているのは、タワウ・ヒル自然公園かなあ。」

と、タクシー運転手が説明してくれた。

マレーシア・サバ州タワウ空港から車に乗る。タワウ市はインドネシア・カリマンタンとの国境に近い町だ。

町はずれからプランテーションが延々と続いていた。一部の地域はココア農園だったが、ほとんどがヤシ農園だ。既にタクシーで、1時間近く走っている。遠くに見える山の裾野の方までヤシ農園だ。どのくらいの面積になるのだろうか。

一部は既に、アブラヤシの若い木を植えている。約30年弱で更新するという。地面は少しばかりの草が生えているが、鳥も虫も見当らなかった。

1997年2月から5月まで、雨期にもかかわらず森林火災が続いた。

インドネシアでは、ヤシ農園の開発のために森林に火を付けたことが主原因だ。被害は甚大となった。森林は、火災、商業伐採などで200万ha弱が1年で破壊されたという。

1988年、コタキナバルからラハ・ダトゥ市を少し訪れた。それはサラワクと違った。「すごいヤシ農園やなあ..」という記憶を元に、今回はサバ州のあちこちを廻ることにしたのだ。本当は、昨年についてサラワク州に行きたかったのだが...

広大なヤシ・プランテーションの脇に、4軒ほど果物店があった。ジャックフルーツ、赤いとげとげのランブータン、パパイヤ、マンゴーなど並ぶ。ちょうど道路沿いで、通行車の人が買っていくという。

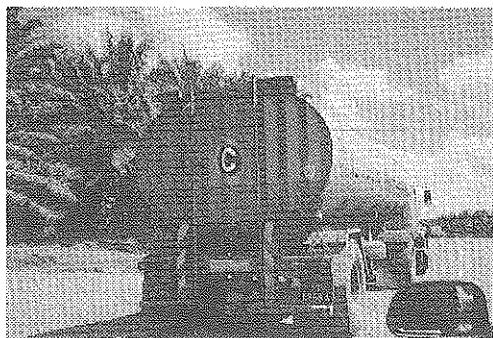
値切りだ。どっちが安く、うまいか。私はわからないが、運転手とマレーシアの友人が味見している。ジャックフルーツは時期はずれだったので高かったが、「久しぶりなので買おう」と私が言った。

その場で食べる。美味。甘い匂いがして種までとろけそう。少しばかりの休息を終え、アブラヤシ工場へと向かう。

ボルネオ・サムドゥラ社の前に、アブラヤシを一杯積んだトラックが5台止まっていた。1時、まだ昼休みだったのだ。運転手は「この工場を知っている」というので、強引に見学させてもらおうと私は思ったのだ。

だが、マネージャーが休憩中で、帰るのが遅いということで断念する。仕方なくトラックの運転手に聞く。

彼は「1日に3～5回ほど運ぶよ。ヤシの実を取ったら早く運ばねば、油がまわる。工場実を精製して油にする」と答えてくれた。



▲ 精油工場から港へヤシ油を運ぶトラック

《パスポート管理された労働者》

ラハ・ダトゥまでずっとアブラヤシ農園が続いているという。「ラハ・ダトゥとタワウの間は200km以上だが、その大半がアブラヤシ農園になっている」と運転手が言う。

同じような風景なので、タワウ市の町まで引き返すことにした。

アブラヤシ農園や工場を余りよく知っているので聞くと、彼も20年以上アブラヤシ農園に働いていたとのことだった。それがわかって、私と友人は、「アブラヤシは何にでも使えるもので、すばらしい。どんどんマレーシアで植えたら、国の財源にもなるし..」と、手のひらをかえすようにヨイショしだした。

ヨイショが効いたのか、運転手はますます好意的になってくれた。写真を撮るために、車を止めることを聞いてくれた。「農園で働く労働者にいろいろ聞きたい」と言うと、働く労働者を見つけ、タクシーを止めてくれた。

ちょうど果房を落そうとしていたところだった。彼はインドネシア・カリマンタンのボネから10年前にここに来たという。

アラン・ラク。30歳、インドネシア人。

「1日に150~400株のパームを落とす。あんたも持ったように、10mほどの鉄の鎌が結構重たいんだ。毎日、農園でパームの実を落してる。

150株以上だと1日に5リンギ(150円)になるがそれ以下だと賃金が減らされる。月平均の賃金は130リンギ(約4千円)ぐらいにしかない。毎日、朝から夕方まで精一杯働いているんだけど..。

インドネシアよりマレーシアで働く方が収入が良いからだよ。うまくいけば月150リンギにもなるんだ」と黒い顔をほころばせた。一農薬の袋が落ちてたが、空から撒くの？

「このあたりは空から農薬を撒いてない。他の所は知らない。木に農薬を注入しているかは知らない。しかし肥料はいっぱい使っているよ。いっぱい使わねばプランテーションがもたないからね。

それより妻子との生活を豊かに立ておぼな

らないんだ。」

---一番困っていることは何か？

「パスポートを会社に管理されているので、自由にインドネシアに帰れないんだ。これは困るんだ。

会社からお金を貰っているから仕方ないけど..。」と、笑顔で答えてくれた。

彼は、また鎌を振り上げ、まず葉を落してから、果房を落した。ドスンと響く。

昨年サラワクと一緒に行った峠隆一さんによると、マレーシアは農薬天国だそう。例は、ベトナム戦争の枯葉剤に使われた「2,4-D」やパラコートは規制されずに使用されている。運んでいた農薬の原液がかかって死亡した女性もいるということだ。

コタキナバルより北の方にあるクダットのヤシ農園の労働者も、ここと同じように農薬の使用についての知識がなく、どう散布するかとの情報すら与えられていない。

▼パームヤシを落とす労働者



《ヤシ農園で死亡しても補償金がない》

タクシー運転手とも打ち解ける関係になって、彼にも聞いてみた。

「タクシーと農園で働くのはどっちが良い？」

「そりゃタクシーさ。こっちのほうが自由な時間が取れる。それに収入も良い。

ヤシ農園で働いたが、最後の方でも300リング(9千円強)。私もインドネシアから来たんだが、最初は賃金が安かった。

それで、1日朝8時から晩の8時まで働いた。妻も子どもも働いて、お金を貯めたんだ。

タクシーなら1日目一杯に働かなくても、食べていける。それに私はもう55歳だから、農園ですっと働いて、機械を廻すのはしんどい。体の管理もむづかしくなったしね。」と、運転手のアジス・モリウ。

「一つらいことは何だった？」

「1つは、仲間が会社にパスポート管理されていたことだ。私はちゃんと手続きを取っていたが、辞めるときもパスポートのことを会社に問われた。

今から思い出すと何か、檻の中にいたみたいだよ。

もう1つは、作業していて葉や果房が落ちてきて、防ぎ損なった人さ。友達もそうだった。仕事は見た目以上に大変危険なんだ。

死亡して見舞金を500リング(15000円)ほどくれたらいい方だ。会社は不法労働となっているインドネシア人に支払わないことが大半だよ。」

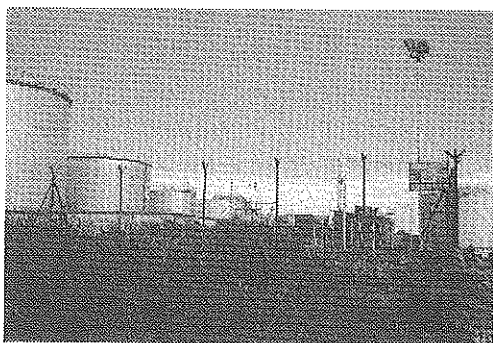
町へ半分くらい戻った所で、休んでいたらタンクローリー車が2台続いて走っていった。ヤシ精製工場からタワウ・オイル会社へ運び、そこから船で海外へ輸出しているという。

「追いかけてくれ！ オイル会社内か、岸壁のシーバース近くまで行ってくれ！」

精油したヤシ油を積んだ車を追い抜かして、オイル会社の正面玄関にタクシーを止める。

運転手は、「上手く入れるよ」と言っていたが、警備員までやってきた。

「だめだ。シーバースの見える方面に行つて欲しい。」と、タクシーの向きを変える。



▲タワウのオイルパームタンク群

タワウ・オイル会社の裏手の方へと車を移動させた。速度をあげて、海辺に向かう。

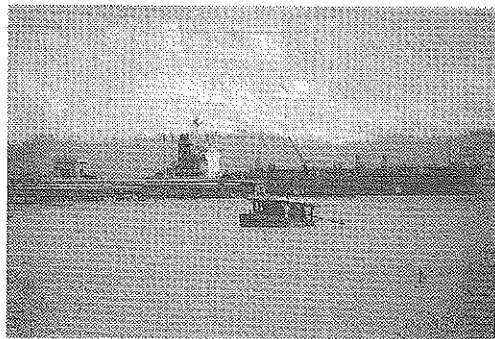
あった！7つ、8つ、10のパーム・オイルのタンク群。石油タンクと同じだ。

オイル・タンク群から海へパイプラインが見えた。ちょうどココア精製工場の前まで来て、車を止める。友達にココア工場のヒアリングを頼んで、私は海沿いへと走った。

シーバースのパイプラインの遙か先に、船があった。オイル・タンカーと全く一緒だ。パーム・オイルも同じような船で運ばれていたのだ。後で運転手に聞くと、インド、シンガポール、日本などに行っていると会社に聞いたと。

本国より少しい賃金のためにヤシ農園に来たインドネシア人。だが帰れない。自由より賃金なのか。そこで10年以上働かざるをえないのなら、農園は“緑の監獄”と同じではないのか。少数のマレー人も働いている。

農業天国のマレーシア。労働者に農業成分も農業散布についても全く知らされていない。こんな状態から「環境に優しいパーム油」が作られて、日本にも輸入されているのだ。



▲タワウから船でパームオイルを運ぶ

〈連載〉

真・日本林業論

—日本と世界の森林を守るために—

徳島県熱帯林問題研究会 猪俣 栄一

第8回 森は賑やかな方がいい

1. 森林における生物多様性とは

この連載の最初に書いた森林の持つ機能とか特性のうち、多様性という問題について若干考えてみましょう。

ご承知のように、1992年にリオ・デ・ジャネイロで開催された、いわゆる「地球サミット」で、不十分ではありましたが地球環境保全への対応が討議され、そのひとつの成果として「生物多様性条約」が調印されました。

以後、「生物多様性」の保全は、国連や各国政府の「お墨付き」を貰った重要テーマになりました。そしてユネスコその他の国際機関も生物多様性の基礎研究の推進を提案しました。

ところで生物の多様性という考え方は、決してそれだけがポツンと独立して存在するのではなく、地球環境の状況をはじめ、生物界のいろんな「関係の存在」と一体にとらえられるべきものですし、とりわけ生物の共生システムと密接に関連しています。

森林においても、昆虫による花の受粉、植食動物や鳥による植物種子の拡散、昆虫同志の相互利用等、相利共生の例はよく見かけるところです。

そして、相利共生にしても偏利共生にしても、生活圏の中にたくさんの種類の生物がいるということが前提で、世の中にたった一種類の単細胞生物しかいなければ、共生関係というものは起こらないでしょう。

最近よく言われ出したように、生物の進化とは競争と淘汰から生じるのではなく、共生から生じるのだとすれば、なおのこと生物の多様性が重要視されるでしょう。

ですが、この連載は日本林業の実態やあり方を考えるものでして、生物学的な見地から森林を考えようというものではありませんので、ここでは「生物多様性」を難しく考えずに、以前から使われてきた意味、「種の多様性」というぐらいに考えて下さい（もう少し丁寧に言うと「森林に存在する種の数の多様性」ということになります）。

2. 森林のタイプによる種の数の比較

森林土壌の中には、1立方センチ当たり何万という微生物がいて、その種類も膨大な数になります。

そういう微生物が、リターや倒木本体を分解してくれることによって森林の生物エネルギーは循環して行くのです。でもそういう土中の微生物の種類や数までは、専門の研究者でないとなかなか明らかにできませんので、今、とりあえず森林のタイプ別による植物（特に樹木）の種の数を見てみましょう。

私が住んでいる徳島県は、南北で言うと四国のほぼ中央になり、海も近く気候は非常に温暖です。地形的にも、海のすぐそばの海拔0メートルから、四国第2位の高山

たる剣山（1955メートル）まで変化に富み、従って森林も海岸近くの平野部に残されたコジイ、スタジイ、ヤマモモ、ホルトノキ等を主にした暖地性植物群落から、剣山周辺の標高の高いところにあるブナ林や、更にその上部のダケモミ、シラベ等の冷温帯植生まで、非常に変化に富んだ森林が見られます。

これらの暖地性の常緑広葉樹林、ブナ帯を中心とした落葉広葉樹林、そしてスギやヒノキだけの針葉樹人工林の林内景観や樹種数、林内生物の違い等を見ていきましょう。

まず落葉広葉樹と常緑広葉樹とでは、樹木の種数でいうと常緑樹林の方が若干多いようです。そして林床の草本類も常緑樹林の方が多そうです。

四国南部では、常緑広葉樹林というとは海抜0メートルの平野部から始まって標高700メートル位までで、それ以上になると落葉樹林へと移って行きますが、500メートルを越えるあたりから、常緑樹林にも落葉樹の混在が目立ってきます。

私が調べてみた徳島県と高知県の常緑樹林は、主として神社の社叢林を中心に、標高が20メートルを越える、うつ閉度7以上位の成木林約40ヶ所でしたが、樹木の種類は25種から最も多かったところで43種でした。

その外に、これらの樹木の雑樹、幼木以外の草本の林床植物が、15種類から70種程見られました。ただ草本類は地上に植物体が存在する時期の短いものがたくさんあり、調査した季節によっては全く見られないものもありますので、同じ場所へ春、夏、秋と、3シーズン行ってみました。

また落葉樹林の代表はブナ林でして、標高1000メートル位から1600メートル位までに見られます。ここでも、樹木の種類は25種から40種位まで見られ、林

床の草本も50種類位見られました。

いずれも、調査した面積はその林の中の30メートル四方位に限って記録しますので、林縁部に近い明るいところと、広い森林の中心部の特にうつ閉度の高い暗い林床とでは、同一の森林の林床でも、生えている草の種類や状況が違います。

しかし、林内がやや暗い常緑林でも、夏冬を問わず林内の明るさが目立つ落葉樹林でも、林内土壌はフカフカとして豊かで、花の咲く林床植物や高木層の樹木が多く、蝶をはじめアブや甲虫類が飛び交い、従ってそれらの虫達を餌とする鳥類も多く、森林内はまさに生命の宝庫という感じが目立ちます。

3. 生命相の貧弱な針葉樹人工林

それに較べてスギ、ヒノキ等の針葉樹人工林は、何となく暗く、生命の活気に欠ける感じがします。

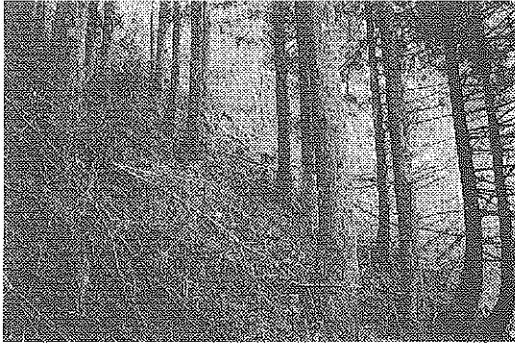
もちろん土壌内の微生物の種類や数は、どんな森林でも肉眼でみた位では判りませんから別としても、一斉林では、もちろん樹種は単一です。

生態系というものは、喰う喰われるという形で目に見えて来ますから、喰われる生物と喰う生物が同時に同一の場にいないければなりません。ところが蝶、ガ、甲虫等、小鳥に喰われる幼虫や、中型の肉食哺乳類に喰われる小動物が住めないような森林では、豊かな生態系というものは生まれません。

スギやヒノキには、蝶やアブ達が好んで集まるような蜜を持った花が咲きませんし、林床も暗くて、虫達に好まれるような草本類が育たないのです。

そのうえ悪いことに、林業家達は、自分が植えたスギやヒノキ等の植林木以外の植物が1本、1種たりとも林内に生育するのを嫌悪しますから、成木林になっても、何

▼写真1・成木林内で定期的に雑木の薙り
払いが行なわれている状況(杉20年生林)



年に一度かは植林木以外の雑木を徹底的に伐り倒して行きます(写真1)。また林床の草本類でさえ薙りとられてしまいます。

その結果、スギやヒノキの人工林内には、手入れが行き届いた美林であるほど、植林木のスギ、ヒノキ以外には、文字通り一木一草も生えていない、極めて「反自然」な森林ができてしまうのです(写真2)。



▲写真2・林内の雑木や林床の草本等を薙りとり
植林木だけ残した林内風景(ヒノキ30年生林)

このような森林は、半分死んだような森林であり、山であります。表層土壌は固くなって水を吸わず、傾斜地では林内雨が表層流となって直接谷川に流出してしまい、もろい土壌ですと林内にさえ水の道がついてしまって土砂が林外に押し流されてしまいます。(写真3)。

このような森林は、生育中でも生命力に乏しい森林ですが、皆伐したあとが大変です。台風でも来れば、たちまち崩落の原因となりますし、山の保水力など、望むべくもありません。

日本の林業家が「森を造り、山を守る」とよく言いますが、私に言わせると、こういう森林づくりは、生き物の住まない生命感のない森や、半分死んだ山を育てているように思われます。

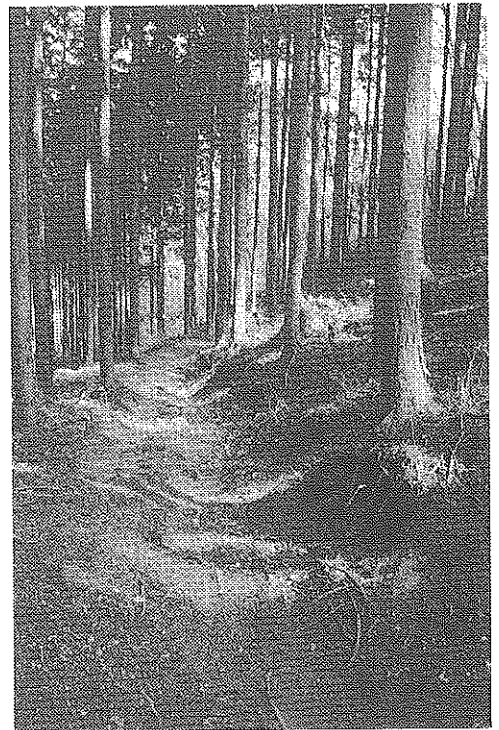
4. 森づくりの見直し

近年、物質的に豊かだった20世紀は、精神を蝕まれた20世紀だったと言われ、本当の豊かさとは何なのかという見直しが盛んです。

森づくりも、ひたすら経済性を追及し、少しでも太い木を1本でも多く収穫しようという森林経営一辺倒の森づくりばかりだと、間もなく日本列島は山や森から減んで行くおそれがあります。そして、もうその兆しはかなり前から現れています。

いまこそ、本当の森づくりを国民がみんなで考える時が来ているのです。

つづく



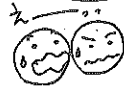
▲写真3・林内の草本を残りず
薙り取ったため林内に水の道が
根が洗われた林内状況
(ヒノキ35年生林)

エクアドルの ボランティア
BAHIA DE Caraquez
 バイア デ カラクエス
 ('99.6.8 ~ '99.7.3)



ある日、いつもの様に
 畑へ出勤した私達に
 セルビオは言った。
 「今日はみんなで エビ池の
 仕事を手伝おねばならない」

エクアドルより帰国してはや1年が
 過ぎてしまいました。ほんの1年前の
 経験なのに もう 新しい記憶が
 入りこみ、エクアドルの記憶が隅に
 追いやられて行きます。



もうすぐ池に水を入れて エビの
 養殖を始めるのだそうだ。

南米大陸の 西側の、コロンビアとペルーに
 挟まれた 小さな国 エクアドルを 支えている
 特産物とは... バナナとエビ (と、ガラパゴス)

たぶん...

でもこの体験は 自分が死ぬ時に
 絶対思い出したい体験です。

(=はらくは=)

そんなこんなで 突然 エビ池へ
 行くことになりました。

(去年、1999年6月24日でした)

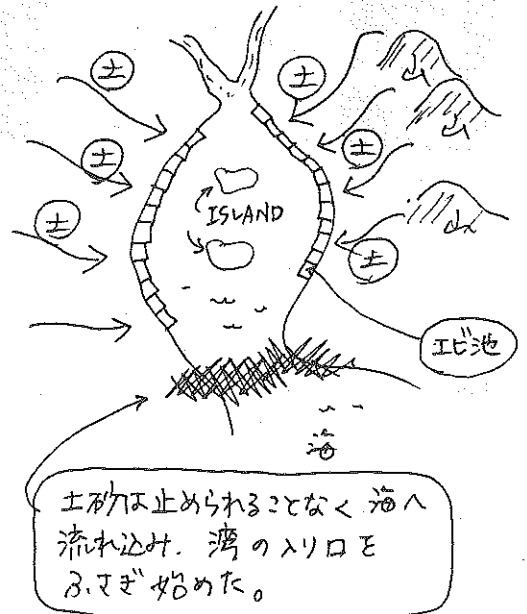
バイア
 Bahia に限らず エビは エクアドルにととの
 大事な現金収入 (外貨獲得) になるので、海岸
 はほとんど エビ池になっているという。
 そして マングローブ林が破壊され、自然のバランス
 が崩れ 問題になっているのは 皆さんご存知
 だと思います。

では、この バイアの町に関しては何の様な
 問題が起きているのだろうか？

バイアの街を上空から見たらこの様になる。



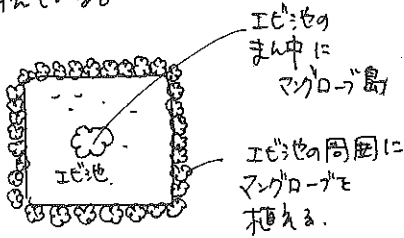
そして、海岸という海岸は エビ池ぞろい、と思して下さい。



エビ業者はたまらんばな...

マングローブを植たいが、エビ池がある為には
植えることができない。

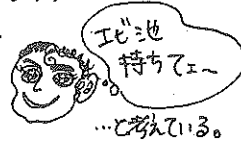
その後、これからの対策としてバニアの町は
こう考えている。



どうかこの試みが今も続いており、

そして成虫は不様に...

でも、たいていの男性は



やはりお金にはまらなう。

主な輸先はアメリカ・ヨーロッパですが
日本にももちろん輸出している事でしょう。

エビ池の仕事、本当大変でした。たまたま半日
居ただけでぐったり...

〜〜 古い記憶を呼び起してやる 〜〜

私が畑仕事を手伝っていた町はあのエビ工場
からトラックで1時間程海岸を走ると30分
エビ池はあった。それから水を引き入れ、稚エビ
を放し、巻廻してゆくのだ。今日はそのいちばん
最初の仕事。畑で言ったら『耕して肥料を
ほどこす』といったところか?

しかしとにかくだだっ広い。よく『甲子園球場
〇コ分』とかいう言い方があるけれど、

一体何コ分なんだ? 私達(私とアメリカ人の
サラと、指導係のセルジオ)が担当した
池だけでも3〜4ヶ入るとちゃうか?

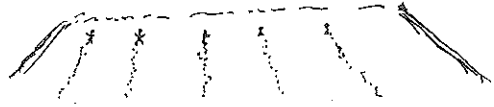
しかもそんな広い土地に手作業で
肥料をやるなんて... しざしほ〜せん...

しかも海岸地帯の暑さは強烈だ!!

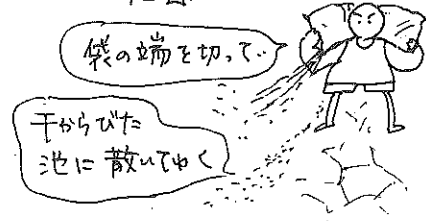
タンクトップだったサラの背中がまわった。

でもぼけぼけしている暇はない。

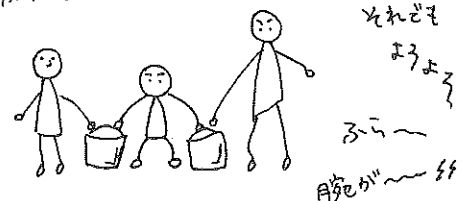
他の人はみな重い肥料を担ぎ、池へ向かっ
ている。そう! 男の子達やお父さん達は
50kgを担いで歩いてエビ池を歩いて
少しづつ肥料を落とす... ヒエ〜!!



一人一人が50kgを担ぎ
歩いてくる。人とは見分けが
つかない程遠くから...



一方、私達は... もちろん50kgも
担げるはずもなくバケツに入れて
散らしたのだ。



すぐにバケツの中身は無くなり
引き返し、またつぎを散く...
何度も何度も往復し、私達の散らした
跡はぐにぐに4曲線を描いていた。

肥料

50kg = 35,000スクレ (約\$4us当時)

カリフォルニア産ミズシが入っているという。

しかしそんなポロポロで
こんな草が乾燥してるのにミズシは
大丈夫なのか!?

土の値段はちろと自信ないぞ。

数字聞きとれてないかも...

確か35000
77000



たいていのエビ池は薬漬けです。
エビばかりを大量に育てれば
病気も出るでしょう。ブローラーの様に...
そしてブローラーの餌に薬を混ぜて
やる時には、エビ池にも薬がたたくさん
使われます。

病気に対しては勿論、エビの
敵をやっつける為にも...

エビの敵 ②



チャマはどろんどろんの中に
住んでいる。

色はムシゴロウみたいだ。
でも魚の形している。

人間のエサにもなる。餌は人に
よく食べた。エビも食べちゃう。

②



カモ

カモはエビの天敵!
エビをパクパク食べちゃう。

③ ヒト

ヒト、とは花棒。夜中に舟で来てきて
ゴッソリ持って行ってしまおうぞうだ。

27ha くらいのエビ池 4コをたつたの
2人でパトロールするぞうです。
夜中じゅう、ずっと銃を担いで歩き廻っている
ぞうです。昼間は激暑! だけど、夜は
とても冷え込むぞうです。

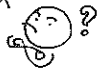
池の カモに対しては、ふちでパ〜ン... とやても
反対側からバタバタ集団で飛んで行って
落ちついてエビを食べ出さんぞうです。

池の周りを必死で歩いて、カモのそばで
またパ〜ン... とやってもカモ達はまた
反対側に飛んで行くだけ。
その繰り返しなんぞうです。

チャマなどの水中の害虫に対して、一般の池は
薬を使いわけですが、私達のエビ池には
化学薬品は使わない。あくまでも天然に
こだわります。

④ チャマに対して使っている薬は
ある木の葉から採れる白い液体。
魚類は呼吸困難で死ぬが、エビは平気なん
ぞうです。

エビと魚では呼吸法が違うと
言っていたが、本当かなあ



その他、現場で見た薬

● FOLACIN (フォラシン)
ビタミンB12が100%

たぶん
「フォラシン」
なのだろう...

エビがチョコロ味なのぞ
と木を取り除く為に使われるぞう

...と言わが、なぜエビがチョコロ味なのぞ?!
チョコロとは中南米でよく食べられるトウモロコシ。
昔黄色い「スイートコーン」ではなく、味の薄い
「白いとうもろこし」である。

エビのエサとしてこのチョコロを使っているのぞ?
その辺はまた語彙力が足りず理解できず。

なにはともあれ...

何をやるにも手作業、手作業...
よー、やる... サラと私は、月給料を
散らした後、その場に居るだけぞ
疲れ切った。 あー...

今、その仕事をしつとら... まつと
倒れる。

こんなに力仕事をした後なのに
青年達は バレーボールをして遊んでいた。

うがく

【インドネシア—原木輸出禁止再検討】

7月27日木材新聞から。98年にインドネシアでは、IMF勧告で輸出禁止の原木が13年ぶりに開始された。年間伐採権の量は3千万㎡に対し、木材工業の需要が6千万㎡で、半数が違法伐採だった。インドネシアは7月、今後国際支援を受けるために禁輸を再検討した。

【Gピース、G8諸国の原生林保護失敗暴露】

7月3日、グリーンピースはロシアから日本へ違法木材を運ぶ船に乗り込んだ。Gピースは、ロシアから産出される木材の2割が違法伐採と公表。またアマゾンの伐採の8割が違法と指摘。

G8前日7月20日記者会見で「世界の原生林が2割に減少。違法伐採が横行している。日本、米国、EUの木材需要が大原因である」と暴露。

同日、世界資源研究所はカナダ、米国、日本からの補助金の拠出が大きく、原生林破壊への「寄与度」が高いと指摘。2005年までに森林破壊を促進する補助金をなくす約束をすべきと会見。

【ロシア—業者へ伐採計画書提出命令、7/26】

沿海地方林業局は、木材伐採業者に7月26日までに林業執行計画書が提出されない場合、林区貸与契約を破棄すると発表。ロシアでは林区伐採権は林業局が業者に貸与しており、5年を超える200ha以上の林区では、貸与後1年以内に伐採造林計画を提出となっているが、20%程しか守られず、違法が続くため。(日刊木材新聞)

【中国—伐採禁止後ロシアの木材大量輸入】

大洪水で被害を受け、建築ブームの中国は、伐採禁止策で2000年上半期の原木輸入量が、634万㎡で、通年で1200万㎡の輸入予想。今年の高の42.3%(約520万㎡)がロシアからで、昨年の25%増。特にハルビン、アムール川経由が倍増。熱帯材の輸入はマレーシア、ガボン、ギニア、パプアからで昨年並み。最近中国は合板の加工輸出に変わりつつある(日刊木材新聞7/26)。

【日本の今年輸入の熱帯材、昨年の1割減】

【マレーシア—違法伐採でプナン人道路封鎖】

8月11日、サラワク州バラム川中流域中心に半定住の100名ほどのプナン人が、伐採道路を封鎖した。リンプナン・ヒジャウ社の子会社ラジョン木材や、シンヤン木材など違法な伐採が続いたためとプナン人が説明。「会社は我々の共有林に関係なく侵入し、無断で木材を切り倒したのが原因だ。」

マレーシアの地球の友SAMは、「不当な逮捕はやめよ。サラワク州政府は、もっと真剣に森林管理政策を考え、打ち出すべきだ」と言う。

また、9月中ごろからバラム川奥地の10箇所以上でも、プナン人による道路封鎖が始まるらしい。(スター紙、JATAN-Eメール、現地から)

【ITTOをどうするか?】

10月30日から11月4日までITTO(世界熱帯木材機関)理事会が横浜で開かれる。だが、ITTO2000年目標の「貿易対象を持続可能な森林経営に基き生産された木材のみ」は破綻した。違法伐採の摘発、木材輸出国の伐採量規制とコントロール、伐採道路へ補助金の停止、十分に保護されてない森林タイプの特典、原生林保護区の管理、WTOによる自由貿易拡大への対抗策などが、問われるだろう。

【森林吸収説は温暖化対策の最大の抜け穴だ】

8月8日、日本政府は97年のCOP3で温暖化対策でCO₂の6%削減目標となったのを、それに対し森林の吸収量の推計を最大3.7%と見込む(10年後に1244万t吸収)と。環境庁、林野庁は3.2%とし、併記となる。だが、どちらも天然林の成長の吸収を見込むインチキなものだ。これでは大気汚染等のCO₂対策を放置し、森林吸収は温暖化対策の最大の抜け穴となる。へたすれば10~20%もCO₂排出増になるとも指摘されている。また米国、日本、豪州、カナダ、フランス、ニュージーランド等が新規植林におきかえクレジットを保証しようとしている。11月のCOP6で、森林が取引材料となり危険だ!

【三菱もエクアドルでユーカリ植林計画】

6月、日本ブラジルネットワーク・代表の原後さんからのメールでは、三菱がエクアドルの熱帯林破壊して、1万haのユーカリ植林を計画。どんどん広がろうとする新植林!
(詳細は yuta@win.mail.netへ)

(by 西岡)

本の紹介

「こだわりの木造住宅
～実例でわかる個性的家づくり～」

辻垣 正彦 編著

佐藤 昭五 写真

講談社刊 1800円(税抜き)

今年春にこの本を上梓なさった辻垣さんが早速私に「本ができたんだよ！」と知らせて下さったのは6月。送っていただいたこの本をすぐに開いてみて、載っている家々がとてもたくさんの材木(しかも国産材)でできていることにまず驚いてしまい、次に「こんな家に住んだら、楽しいやろなー」と思ってしまいました。

「こんな家いったいナンボ(いくら)すんのかな? どうせ高いにきまっとる」と思うのも当然。本当にしっかりと組立てられ、「冬暖かく、夏涼しい」とか「環境を考えた素材で」等の建て主さんの様々な要望に応じているんですから。でも親切なことに値段が出ているのです。だいたい3000万円台を中心に2000万～4000万円の家々。

これやったら今は無理でも将来は!と思えます。今時の家を国産材で、しかも在来工法を用いて作るには、やはり高くなるとしか思えないですが、この位の値段なら大手住宅会社で家を建てるよりイイナと思ってしまいます。

印象に残る家の写真ばかりですが、中でも「本棟作りの民家」は圧巻。こんな立派な家が今でも建てられ得るのかと日本の伝統家屋建築の素晴らしさを思われます。また「子供達の原風景になる家を」という要望に応じた家には、小さい時をこんな家で過ごせる子供は幸せだなーと思いました。



この本の中では、「大工」「左官」「建具」「畳」「瓦」という頁も設け、こうした家々にはそうした職人の技術が欠かせないものであり、一つ一つの工程への建築家の愛着を感じさせるところがあります。

編著者である辻垣さんは東京・五反田にある建築設計事務所を営む建築家であるとともに、ウータンも大変お世話になっている「パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会」の会長でもいらっしゃいます。

大量生産・大量廃棄、効率至上の時代に世界の森のことを考え、伝統的工法を伝えていく事をも視野に入れ、建築という仕事を担っておられる建築家の皆さんに心から声援を送りたいと思います。

家を建てようと思っている方にはもちろん、「将来こんな家に住みたいなー」という夢にイメージを与えるためにも必見の本です。
(荒木 琢磨)

【会費、カンパを頂いた方々】(2000年6月14日～9月10日)

一村和幸 伊藤哲男 伊東万千子 上田広子 大西裕子 岡本昭子(グループ地球人)
 大東弘 加藤憲司 熊崎実 後藤裕己 助友伸子 田岡めぐみ 田村節子
 千代延明憲 津田研子 恒成和子 寺川庄蔵 永田展雄 伴正巳 福田敦 藤岡正雄
 伏見将司 二木洋子 古川文月 松本剛一 南研子(熱帯森林保護団体) 山田光一
 望田敬子(アースを守る会) 山田睦美 蓮原耕児 和田善行(敬称略)

【裏返し古封筒、記念切手をいただいた方々】

堀川雅子様 山内美登利様(パンダクラブ徳島) 他

ありがとうございました。

《お便りから》 (敬称略)

★いつも活動ごころうさまです。姫路にも2001年10月には国際交流センターができます。市民参加のセンターとなるよう、いろいろやっています。大阪にはなかなか行けませんが、姫路でもいろいろできるよう頑張っています。(岡本昭子)

★少人数ながらよくがんばってますね。「森の通信」を楽しみにしています。運動の発展を期待しています。何も力になれなくて申し訳ありませんが、ねばり強く行動を続けて下さい。(千代延明憲)

★森林の荒廃もさることながら、日本人の理念・志・市民としての自立心自体が枯渇していますネ。(松本剛一)

★8月から又、2ヶ月ほどアマゾンに入ります。そちらも本当に頑張っている様子。はげみになります。(南研子)

★環境問題、特に熱帯雨林の事が心配でスタートしたアース(明日)を守る会の代表をして11年です。「継続は力なり」と自分に言い聞かせながら、150年先に豊かな水源の森をめざして植林をしています。先週も下草刈りで朝早くから作業に参加しました。息の長い長い活動が必要ですね。お互いがんばりましょう。(望田敬子)

HUTAN ACTION SCHEDULE



◎森林どんぶり

場所/アジアボランティアセンター 電話06-6376-3545

全て午後7時～ 参加費は600円

大阪市北区茶屋町2-30-4F(阪急梅田駅から徒歩2分)

- 第4回 10月13日(金)「悪い植林? いい植林?」 ゲスト*緑の地球ネットワークのメンバー
- 第5回 11月11日(土)「46年後の地球～環境教育の場合」 ゲスト*ウータンのメンバー
- 第6回 12月8日(金)「クリスマス・パーティ」

◆◆WRMW(世界熱帯林運動週間)◆◆ ☆☆☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆☆☆

↓↓

～ITTO「2000年目標」とWTO自由貿易体制を問う!!～

◎森林破壊の現場からの報告

10月22日(日) ～インドネシア・マレーシアの違法伐採と大規模アブラやし農園開拓～

午後12時30分～4時30分 参加費/1000円

場所/福島区民センター(福島区役所の隣り)電話06-6468-1771

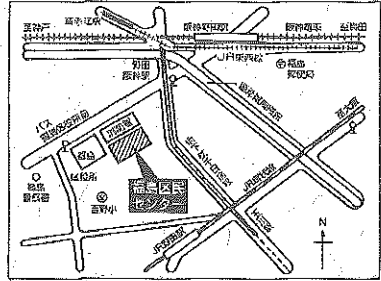
(地下鉄・千日前線・阪神野田駅7番出口より4分)

(JR環状線・野田駅から徒歩8分、阪神野田駅より6分)

主催/AMネット(問合せ電話06-4800-0888)、JATAN、

協力/ウータン・森と生活を考える会など

違法伐採等が続くインドネシア、マレーシア。アブラやし農園は、森を破壊して急激に拡がろうとしている。現地メンバー等を招き報告会。東京、名古屋も予定。



↓↓☆☆→

◎他の世界熱帯林運動週間の行動、ITTO(国際熱帯木材機関)理事会(10月30日-11月4日)への行動

詳細は後日 *問合せ/西岡まで電話0722-52-0505

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆

12月9-10日

森林・吸収源問題担当/ウータン、熱帯林きょうと等

◎「市民が進める温暖化防止2000」

場所/キャンパスプラザ京都(京都市下京区) 主催/気候ネットワーク電話075-254-1011

行動しよう!「(一斉の声)いっせいのせ」地球温暖化防止キャンペーン *各国首脳へ声を届けよう!

今すぐ、<http://www.japan.aapc.co.jp/cv/>へアクセスを! *問合せ/西岡まで電話0722-52-0505

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



ウータン・森と生活を考える会

[OFFICE] 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36

サクラビル新館308

「関西市民連合」気付

Tel.06-6372-1561

【一部】300円 【年会費】3000円

【郵便振替】00930-4-3880

◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。

◎ウータン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより「関西市民連合」事務所にて行っております。